

芦屋室内合奏団 高知室内管弦楽団

ジョイントコンサート

第34回定期演奏会



神戸朝日ホール

2000年11月5日(日)

◎ごあいさつ

1965年、当時の神戸大学、甲南大学等の学生オーケストラの主席奏者達が芦屋市浜町の故橋本宗夫氏宅に集まり、以来35年間に亘って弦楽アンサンブルの活動を続けてまいりました。

本年は当合奏団を永年にわたり指導していただいている酒井先生の取りもつ御縁で、同じく先生の指導されておられる高知室内管弦楽団との2度目のジョイントコンサートが実現致しました。例年とは少し異なった味が出るのではないかと期待しております。これからも皆様に愛される合奏団をめざしてアンサンブル活動を続けていく所存でございます。あらためて皆様のご声援に深く感謝致します。

2000年11月 芦屋室内合奏団 団長 青柳 良
団員 一同

プログラム

1. H. パーセル 「デイドとエネアス」

*Adagio - Allegro risoluto - Adagio -
Larghetto - Allegro spiritoso - Allegro*

2. J. S. バッハ 「2つのヴァイオリンのための協奏曲」

I. Vivace II. Largo ma non tanto III. Allegro
ヴァイオリン独奏 鳥丸安雄、吉川亜御江

～ 休憩 (15分) ～

3. S. バーバー 「弦楽のためのアダージョ Op. 11」

4. W. A. モーツァルト 「交響曲No. 29 K. 201」

*I. Allegro moderato II. Andante
III. Menuetto IV. Allegro con spirito*

◎本日の演奏曲目について

1. パーセル (Henry Purcell 1659-1695) はイギリスの最も重要な作曲家で、イタリア音楽の影響を受けながらイギリス・ルネッサンス期の伝統に自由奔放さと楽想の豊かさを加え独自の世界を作り上げています。「ディドとエネアス」はイギリス最初の本格的オペラで、古代ローマ時代の悲恋物語を題材に劇的效果を有する作品として今日まで高く評価されています。今回の演奏はこの抜粋を弦楽合奏に編曲されたものです。
2. ヴァイオリンを習う者がこの曲に出会って合奏の楽しさと音楽のすばらしさを本当に実感する曲です。今年バッハ (Johann S. Bach 1685-1750) 没後250年ということで演奏される機会も多かったようです。前回のジョイントコンサートの両コンサートマスターをソリストとして、お互いの個性を主張しながらいかにアンサンブルを作っていくかとても興味がそそられます。
3. バーバー (Samuel Barber 1910-1981) はアメリカの作曲家で、彼がイタリアに留学中に作曲した弦楽四重奏「第1番」の第2楽章を弦楽合奏用に自身で編曲したもので、清らかな抒情と情熱をたたえた逸品です。この曲は前回のジョイントコンサートで一緒に演奏した思い出の曲です。アンサンブルと音楽表現を特に必要とされる曲です。
4. モーツァルト (Wolfgang A. Mozart 1756-1791) 18歳頃の作品で、ト短調の25番とならんで中期の交響曲作品の中での傑作に数えられています。弦楽にホルン、オーボエを加えただけの簡素な編成ながら、緊密な構成とともに後期の交響曲をほうふつとさせるスケールの大きさをもっています。モーツァルトの曲は楽譜は比較的やさしいのですが、音楽の奥深さを引き出すのはとても難しく、酒井先生のモーツァルトに少しでも近づけたらと思っています。

◎指揮者 酒井睦雄

桐朋学園高等学校音楽科を経て1971年桐朋学園大学卒業。指揮を斉藤秀雄、秋山和慶両氏に、クラリネットを北爪利世、二宮和子、F. フックス各氏に師事。71年より相愛オーケストラ指揮者、77年ザルツブルグにてO. スイトナー氏に師事。同年、東京にてS. チェリビダッケ氏のゼミナールに参加。現在、相愛大学教授として音楽専門家の育成にあたるかたわら、74年より芦屋室内合奏団音楽監督、岐阜交響楽団常任指揮者、90年より高知室内管弦楽団指揮者をつとめる等、アマチュア合奏団の発展にも尽力。

◎芦屋室内合奏団

音楽監督	： 酒井睦雄	Vn:	福永精一 播磨純一 藤本恭子 中田久仁子 三瓶政一
団長	： 青柳良		福永千江子 鳥丸安雄 青柳良 黒川美恵子
コンサートマスター	： 福永精一	Va:	河野建一 高橋由伸 竹村久美子
部長	： 中田和夫	Vc:	宮崎晴夫 中井敏雄 鳥丸直子
		CB:	中田和夫 Cembalo: 小津久子

◎高知室内管弦楽団

1990年8月、酒井睦雄氏を指揮者に迎え結成。同年12月、第1回定期演奏会「降誕の夜のための」を開催。以後、高知で唯一の弦楽アンサンブルとして活動をしている。
1998年、高知市は水害に会い、演奏会場が水没。演奏会は中止となりましたが、それを除いてほぼ毎年定期公演を開催。その中には、1996年に「映画音楽の夕べ」と題したコンサートもあり、ジャンル等、柔軟な姿勢をもって取り組んでいる。

団長	： 中谷元	Vn:	吉川亜御江 依光美加 横田周平 田中陽子
コンサートマスター	： 吉川亜御江		目代美和 中内健二 大野明子 春田麻衣子
		Va:	小笠原暁
		Vc:	戒能哲雄 篠原依里子 高山百合子
		CB:	竹村裕子

◎芦屋室内合奏団の足跡

【定期演奏会曲目、1965～2000】

- ・コレルリ クリスマス協奏曲、サラハント・ジーク・バティヌリ
合奏協奏曲 op. 6-1, 6-6, 6-7
- ・パーセル トランペットと弦楽のためのソナタ
アダテラサル、ダイトーとアネス
- ・マルチェロ オボエ協奏曲
- ・アルビノーニ 弦楽のためのソナタ、シンフォニアNo. 3
オボエ協奏曲 op. 9-2
- ・ウイヴァルディ 「四季」、チェロ協奏曲、
合奏協奏曲 op. 3-3, 3-10, 3-11, 3-12
- ・テレマン 3つのVn弦楽通奏低音のための序曲、
組曲短調、Vla協奏曲、組曲「リラ」、
ブロックフルテと弦楽のための組曲
組曲No. 1
- ・ヘンデル 合奏協奏曲 op. 6-1, 6-2, 6-3, 6-5, 6-6、
6-9
- ・バッハ プレテンツィョ協奏曲 No. 3, No. 5、
ヴァイオリン協奏曲No. 2、ピアノ協奏曲No. 1、
オボエとヴァイオリンのための協奏曲
管弦楽組曲No. 2, No. 3、前奏曲短調、
2つのヴァイオリンのための協奏曲
- ・ハイドン 自動オルガンのための3つの小品、
オルガン協奏曲No. 2
- ・ボッケリーニ チェロ協奏曲
- ・モーツァルト デイムルティメント K136, K137, K138, K334、
交響曲No. 29、オボエ四重奏曲K370、
戴冠舞曲、アダージェョとフガ K546、
セレナータ・ノットリルカK239、クラリネット五重奏曲
アイネクライネナハトジーク、村の音楽家K522
- ・メンデルスゾーン 弦楽のためのシンフォニアNo. 12
- ・シュターミツ マンハイム・シンフォニアNo. 1
- ・ジエミナーニ 「ラ・フォリア」
- ・グレルク 歌劇「ドン・ジュアン」より
- ・パガニーニ 弦楽のためのロンド
- ・ロッシニ 弦楽のためのソナタNo. 1
- ・ヘルマン クラリネットと弦楽五重奏のためのアダージェョ
- ・シューベルト 「死と乙女」
- ・シュトラウス トリッチ・トラッチ・ポルカ
- ・ボロティン ノクターン
- ・チャイコフスキー 弦楽セレナーデ
- ・ドボルザーク 弦楽セレナーデ
- ・グリーク ホルバアの時代
- ・ヤナチェク 弦楽のための組曲
- ・ラファエリ ロマンスとスケルツォ
- ・エルガー 弦楽のためのセレナーデ
- ・ヴェルディ 「イタリアのセレナーデ」
- ・ニールセン 小組曲op. 1
- ・レハール ワルツ「金と銀」
- ・ホルスト 弦楽のための組曲「セントポール」
- ・スーク 弦楽のためのセレナーデ
- ・シェンベルグ 「浄夜」
- ・バルトーク トランシルバニア舞曲、ジークンブルグの踊り
10のやさしい小品
- ・パーカー 弦楽のためのアダージェョ
弦楽のためのセレナーデ
- ・ブリテン シンプル・シンフォニア
- ・シベリウス ラカスタヴァ
- ・ウエーロック カプリオール
- ・D. アハート 「夢のように」「ガラスごしの翳」

【歴代指揮者】 中島良能(在籍1965-69)、M. H. Shoemaker(同1972-74)

【協演者】 竹永元子(Pf, 1966)、香掛うらら(Fl, 1966)、鈴江苑生(Vn, 1967)、中島公子(Pf, 1967)、
宮本政雄(Cond, 1968)、楨和美(Ob, 1968)、毛利伯郎(Vc, 1968)、延原武春(Cond, 1969)、
北山隆(Bl. Fl, 1969)、池田俊(Tp, 1969)、宮島登美子(Cmb, 1969)、奥田伸吾(Cond, 1971)、
曾我部千恵子(Vn, 1975)、白井美和子(Fl, 1977)、斎藤達男(Vc, 1980)、鈴木雅明(Org, 1984)、
福永麻里(Vn, 1996)、坂野典子(Fl, 1998)、岩永健三(Ob, 1999)

【歴代コンサートマスター】 原田美加(在籍1965-1966)、鳥丸安雄(同1967-1995)

ドイツ公演のお知らせ

芦屋室内合奏団はドイツのバンベルグで1月1日、21世紀の最初のニューイヤーコンサートに出演することになりました。またドレスデンでは1月2日に現地のノイエコール合唱団と一緒にコンサートを行います。バンベルグ独日協会から招待を受けたもので、合奏団のOBや高知室内管弦楽団のメンバーの協力を得て実現しました。演奏曲目はチャイコフスキー「弦楽のためのセレナーデ」、バッハ「2つのヴァイオリンのための協奏曲」、「日本の歌メドレー」、モーツァルト「アヴェヴェルムコルプス」等を予定しています。音楽の本場で演奏できる機会が与えられとても楽しみにしています。